

2009年度府予算案・教育予算案

「大阪こわし」「教育こわし」推進の案

安全性無視のWTCへの府庁移転
府民・職員犠牲をさらに推進

教育日本一の実態は「切り捨て教育」日本一

府庁予算案特集

府
予
算
案

府庁のWTCへの移転で、経済活性がはかれるかのような報道や、好意的な報道がなされています。が、これまでも歴代の府政・知事が「関空ができたら」「湾岸ベイエリア」が大阪経済を活性化すると言ってきた「大型公共事業」の数々。その結果はすでに、明らか。

マスコミも使ったの府庁移転の一〇五億円計上は、大阪こわしの第一歩です。

大型開発
プロジェクトは推進

- ①箕面森町 342億円
- ②彩都（箕面・茨木）100億円
- ③新名神（高槻・茨木・箕面）211億円

など、9事業に今後1525億円執行を予定しています。大型開発の問題点が指摘され

ているにもかかわらず、関西財界の要望を聞いて、進めようとしています。

一方、私学助成削減40億、府営住宅減免制度見直しで14億、医療費負担助成削減、休日・時間外救急診療の自己負担加算など、府民には容赦ない切り捨てです。

府
予
算
に
占
め
る
割
合
が
19%
に
落
ち
込
む
教
育
予
算
（**案**）

11分野に分かれた部局別予算の中で、ダントツ・最大の削減額が、教育予算です。「学力の向上へ施策大幅拡充」（朝日）と報じましたが、その中身は、「切り捨て教育日本一」と、金にモノを言わせた知事による教育介入・支配を露骨に推進するものです。

（2面に続く）



2009年3月13日
NO. 432

とよなか

全教豊中教職員組合

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Webページ

http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/

特徴

その一 教育予算総額201億円削減 公教育縮小予算
 その二 格差社会を拡大する教育「学力テスト体制づくり」
 その三 学校教育教職員への介入と管理統制の徹底予算

その一

- ・教育専門員制度廃止
- ・私学助成削減
- ・旅費予算削減

08年度比、88.7%となる削減。日当・旅行雑費の廃止、宿泊料の減額と食事代のカット。出張したくても、旅費が出ない事態が昨年以上に生まれる可能性大。額は左のとおり

- 小学校(〇人) 23920円
- 08年度比3280円減
- 中学校 35850円
- 08年度比5020円減

- ・部活動旅費も大幅削減
- ・前年と比べ約千二百万削減
- ・「いじめ・不登校問題行

動対策」の約二億七五〇〇

- 万円の削減
- ・警備員配置等の予算補助を減額し、2年限度の交付金化

その二

- ・「習熟度別指導」推進
- ・「おおさか学び舎事業」
- 「大阪教育ゆめ基金」の立ち上げ。09年度10億円、3年間で約30億円。「まなびや事業」では、小中学校の放課後学習の推進「上位層の成績アップをねらう」と知事が公言しています。
- ・市町村支援プロジェクト事業

全国学テで「明らかとなった課題解決にむけて」として、「積極的にとりくむ市町村の小中学校」を支援す

るものです携帯ゲーム機活用や、授業改善としてモデル授業や授業評価導入など、特定の教材や教育方法をおしつけ、「学力テスト」対策をすすめるもの。
 ・府立高校10校に特定した「進学指導特色校」

	教職員定数	増減	
小学校	27418人	238人	
中学校	14975人	163人	
			支援学級
			学級認可数
指導方法工夫改善			
小学校	1172人(±0人)		小学校 2435学級(160学級増)
中学校	1193人(±0人)		中学校 957学級(61学級増)
その他加配等			合計 3392学級(362学級増)

	不登校対応研究所	通級指導	児童生徒支援
小学校		95人(+10人)	232人(+1人)
中学校	19人(±0人)	8人(±0人)	172人(+1人)
合計		101人(+10人)	402人(+2人)

その三

- ・カリキュラムNAVIPラザ4ブロック開設し、授業力向上指導員による学校訪問
- ・「将来の管理職となる教員の養成」をねらう「リーディングティーチャー養成研修」
- 2億5000万円

豊中の学校給食がどのようなようになるのか！

市が「新給食センター基本計画」 (素案)の意見募集

意見募集期間

3月2日(月)～

3月23日(月)

老朽化して、建て替えるを検討してきた学校給食センター。市は、2万食をこえる巨大な給食センターをこれまで計画していません。

全教豊中は、この間、学校給食を考える市民団体と共同して、安全で安心して食べられる、そして、可能な限り自校調理方式の学校給食をと署名活動や学習をすすめてきました。対市交渉でも学校給食の問題を取り上げてきました。

市は、3月、「(仮称)豊中市新学校給食センター基本計画」(素案)を出し、市民などからの意見を募集しています。

まだ、用地が決定していないとしつつ、建て替えパターンを4つ示しています。いずれも、中心となる「給食センター」案です。概算事業費として食数の試算を6000食～1万3500食を試算しています。子どもたちの大好きな給食を、もっと身近にしているために声を届けましょう。

(素案)は市のHPから見ることができます。

20回を迎えた

青年フェスタ

箕面に七〇〇人 集う

2月21日・22日と箕面観光ホテルで青年フェスタが今年もおこなわれました。府下各地域から青年教職員が集まりました。

「ズッコケシリーズ」の那須正幹さんの講演。青年が学び、交流しあった分科会、そして、2日目には、



それぞれの興味のある実技講座に参加して、明日からのエネルギーを蓄えました。豊中からもたくさん参加。北緑丘の北村建一さんが分科会で報告しました。来年も、箕面観光ホテルで開催の予定です。実行委員も大募集です。



卒業式での「日の丸・君が代」について考える

子どもが主人公の卒業式を「強制」NO!

国旗・国歌法制定（99年）後、全国的にもほとんどの学校で掲揚・斉唱するようになってきました。とりわけ東京などでは教職員を処分で脅して「日の丸」に向かつて起立させ、「君が代」を斉唱・伴奏させる強制がつついでいます。

憲法19条は「思想及び良心の自由は、これを侵してはならない」と明記。国旗・国歌法の審議にあたって政府は、「国旗の掲揚等に関し義務付けを行うことは考えておらず」（小渕恵三首相）と答弁しています。「強制的なし」が「日の丸・君が代」問題の原則であることは明白です。

ところが、新しい学習指導要領には、音楽で、どの学年でも「君が代が歌える

ように指導するよう」とさらに踏み込んだ内容になっています。

おしつけはしないと云いつつ、学校現場で子どもたちにも一歩一歩、押し付けを強めようとしてきています。「日の丸・君が代」については、何が何でも徹底させようという政府・文科省の意図が感じられます。

さまざまなスポーツ大会開会時などに目にする「日の丸・君が代」。「何とも思わない」という国民が多いのも事実ですが、侵略戦争の記憶と結びついた「日の丸」や天皇制をたたえる「君が代」について、賛成できない人がいることも事実です。

また、学校には外国籍の子どもや宗教上の理由で

「たたえる」歌を歌わないという子どももいます。

卒業式で何が何でも「日の丸・君が代」をもちこむことはおしつけにほかなりません。

「日の丸・君が代」問題で全教豊中は3月3日、市教委義務教育課に申し入れをしました。

日の丸・君が代「おしつけ前は、児童生徒主体の卒業式があった！」

豊中でも十年ほど前までは「日の丸・君が代」のない卒業式がありました。

それぞれの学校で、どのような卒業式をするのかを議論をし、実行委員会などもつくって、子どもたちが主体・主人公となる卒業式をそれぞれの学校が考えていました。

しかし、卒業式での「君が代・日の丸」が一方的におしつ

けられて以降、式次第の中に「国歌斉唱」が入り、児童生徒が主体となった卒業式がめつきりへり、「例年どおり」と内容よりも「形」を重視する傾向が強まってきているのではないのでしょうか。

創意工夫ある卒業式をおこない、内容豊かな教育実践を広げるためにも「日の丸・君が代」の何が問題なのか引き続き、学習することが大切です。

申し入れたおもな内容

- 卒・入学式で、憲法に保障された思想・信条及び内心の自由の保障するため、「日の丸・君が代」をおしつけないこと。
- 卒・入学式は学校の教育課程に属するものであり、学校の自主性を尊重すること
- 外部のものが暴力や威圧によって強制することは断じて容認できないことであり、毅然とした対応をすること。